

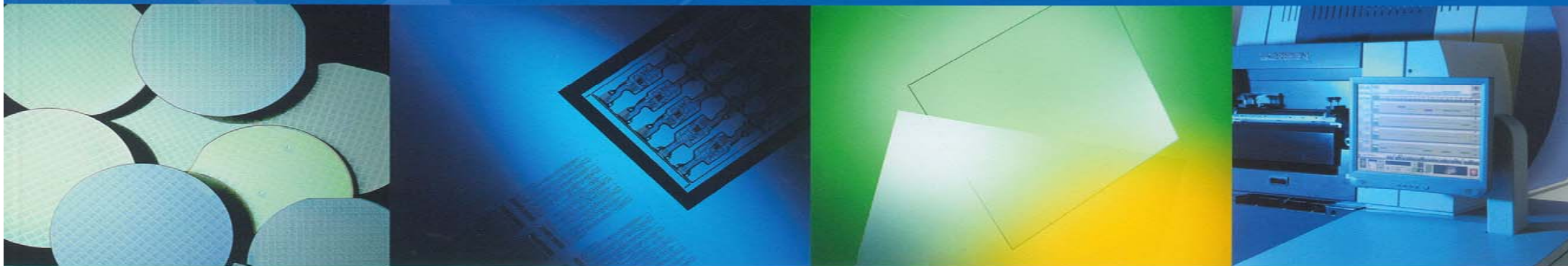
SCREEN

大日本スクリーン製造株式会社 2008年3月期 第1四半期 決算説明会

2007年8月9日

資料の取り扱い上の注意

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・FPDパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。なお、本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



2008年3月期第1四半期決算概要

常務取締役

財務・経理戦略/IR担当 領内 修

本日のアジェンダ

- 四半期連結業績の推移と分析
- 売上高・営業利益/受注高・受注残高の四半期推移
- 各事業環境について
 - 半導体製造装置事業
 - FPD製造装置事業
 - 画像情報処理機器事業
- サマリー

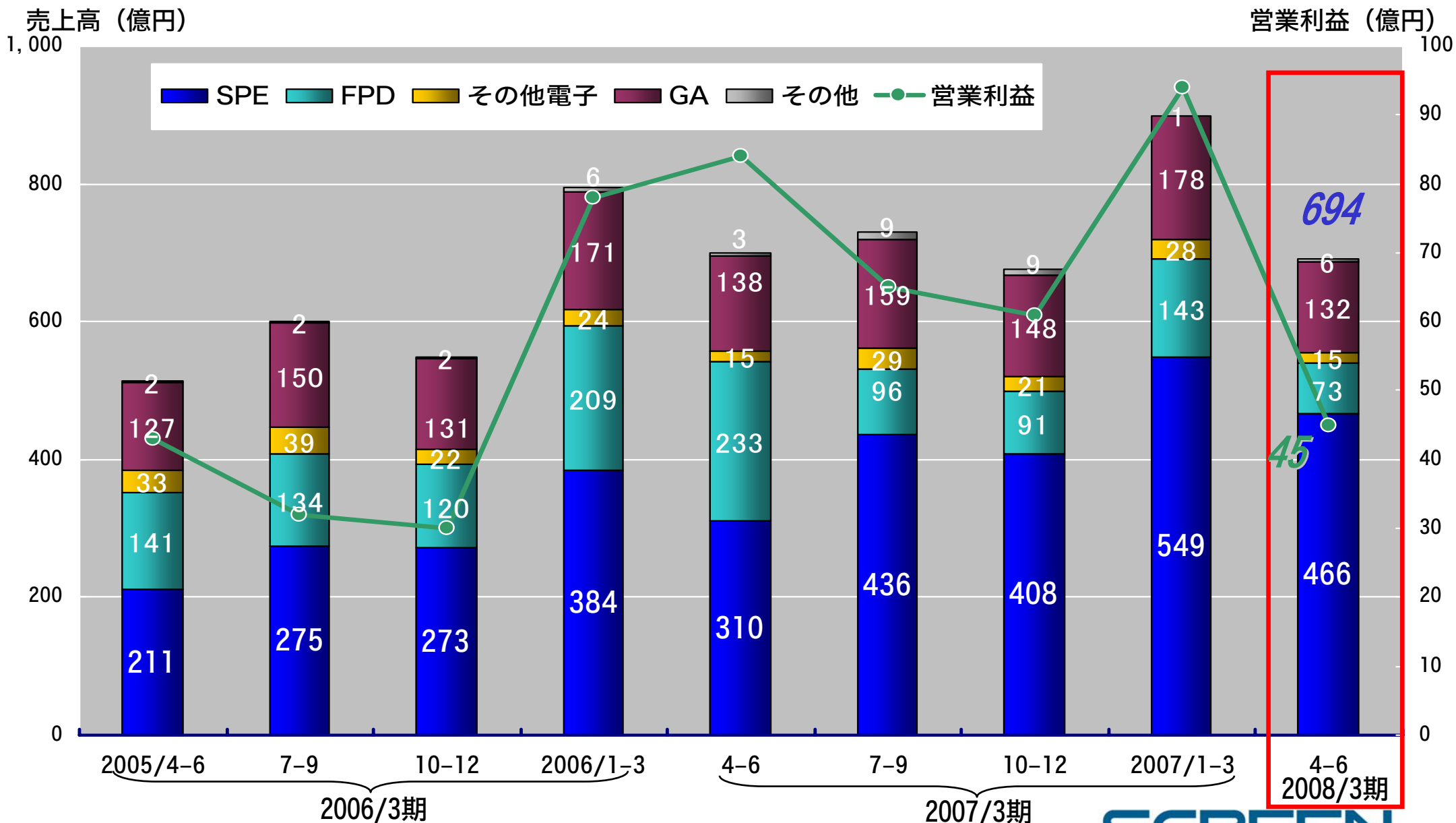
四半期連結業績の推移

(単位：億円 未満切捨て)	2007年3月期				2008年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	上期計画 5/14発表
売上高	701	731	678	901	694	1,430
売上総利益	237	212	201	250	189	—
販売費及び 一般管理費	153	146	140	155	143	—
営業利益	84	65	61	94	45	90
営業利益率	12.0%	9.0%	9.0%	10.5%	6.6%	6.3%
経常利益	76	64	55	73	43	65
税金等調整前 四半期純利益	84	79	59	77	47	—
四半期純利益	47	42	33	60	21	41

当第1四半期の連結業績分析

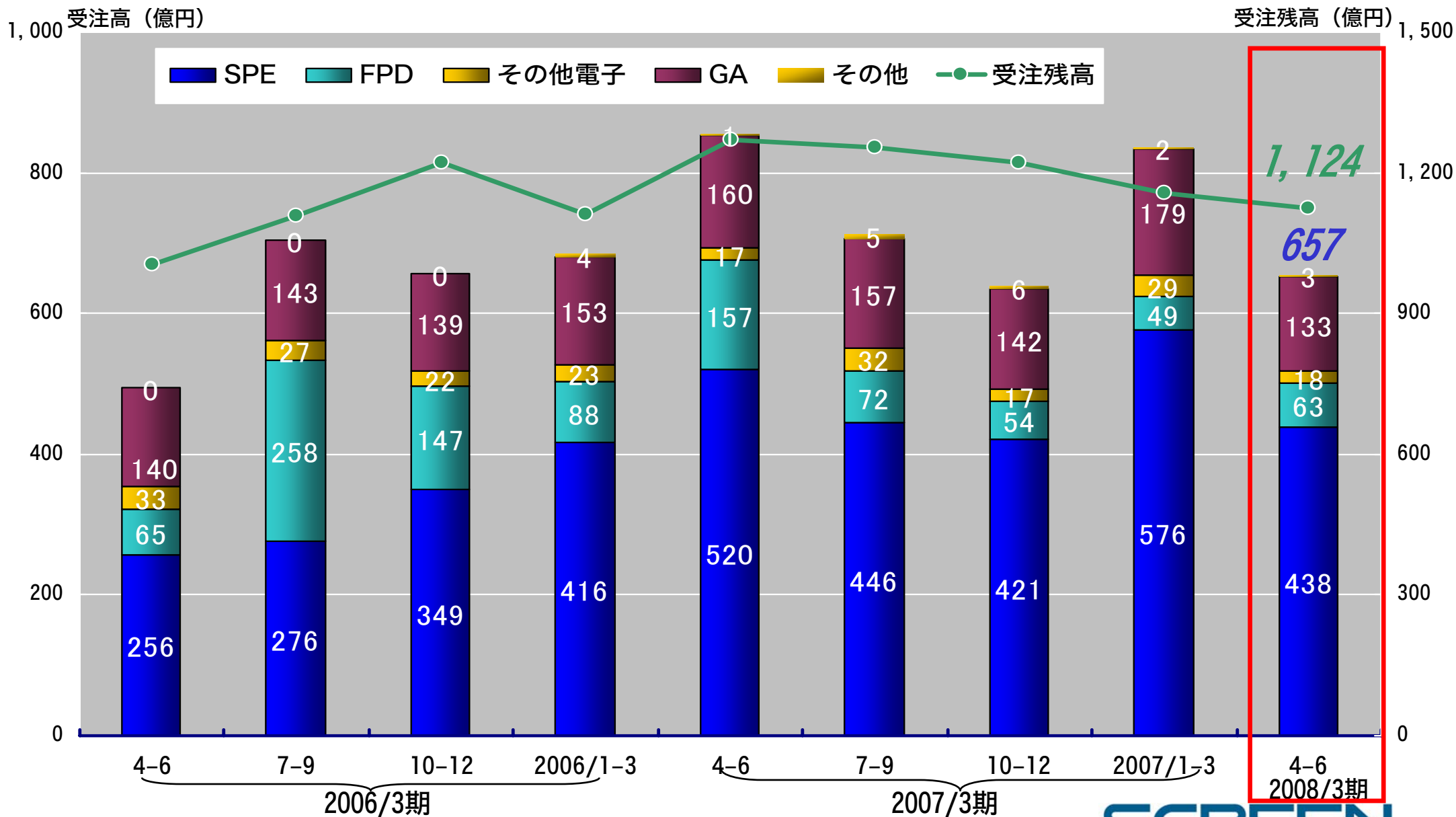
対期初計画 進捗状況	売上高	上期計画 1,430億円 実績 694億円 (進捗比率48.6%) SPE : 466億円 (上期計画比49.1%) FPD : 73億円 (上期計画比56.8%) その他電子 : 15億円 (上期計画比31.8%) GA : 132億円 (上期計画比45.5%)
	営業利益	上期計画 90億円 実績 45億円 (進捗比率50.9%) 電子工業用機器 40億円 画像情報用機器 3億円 その他 1億円
前年同期比 FY08/1Q vs. FY07/1Q	売上高	▲6億円 (701億円→694億円) SPE : 大幅増 (155億円) FPD : 大幅減 (▲159億円) GA : 微減 (▲6億円)
	営業利益	▲38億円 (84億円→45億円) FPDの売上減少に伴い利益減少 (昨年同期比▲約60億円) SPEの売上増加に伴い利益増加 GAは販管費の抑制により増加

売上高・営業利益 四半期推移 (連結)



SPEは半導体製造装置、FPDはFPD製造装置、その他電子はプリント配線板製造装置およびブラウン管用マスクなど、GAは画像情報処理機器をそれぞれ示す。

受注高・受注残高 四半期推移 (連結)

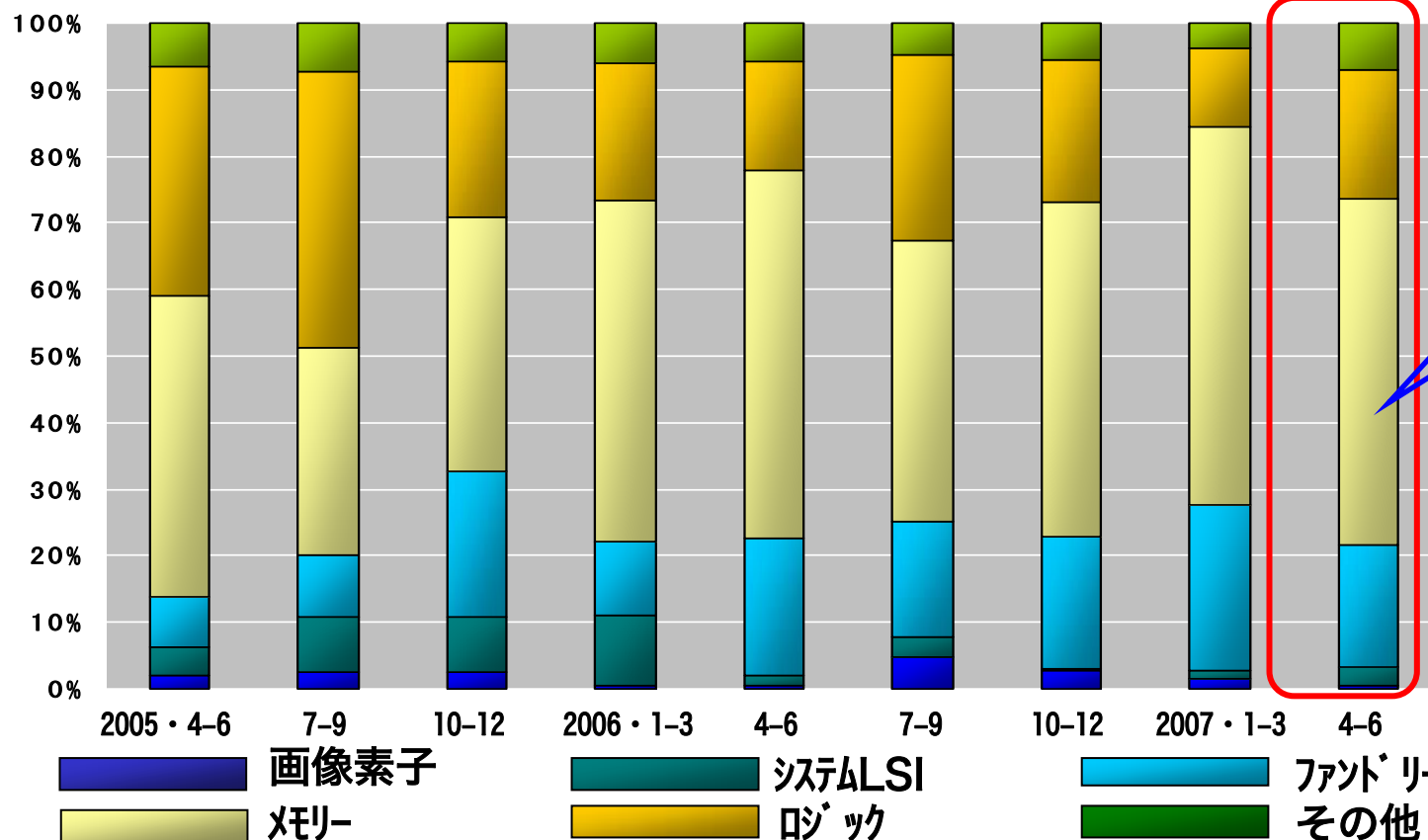


SPEは半導体製造装置、FPDはFPD製造装置、その他電子はプリント配線板製造装置およびブラウン管用マスクなど、GAは画像情報処理機器をそれぞれ示す。棒グラフの黒文字は、四半期受注高合計を示す。

半導体製造装置事業

- 2Qにかけて受注の調整局面起こるも下期より回復基調
- 計画通り前年比5%程度のプラス成長を予想

デバイス分類別四半期受注比率推移（単独）



DRAM 投資に
一服感

1. デバイス別投資予想

DRAM	一部の顧客による調整の動きがあるものの 期後半に向けて回復基調
NAND	設備投資は堅調に推移
ロジック	一部の顧客による投資見直しがあるものの 大きな影響なし
ファブリー	期後半の投資拡大に期待

2. 新製品の状況

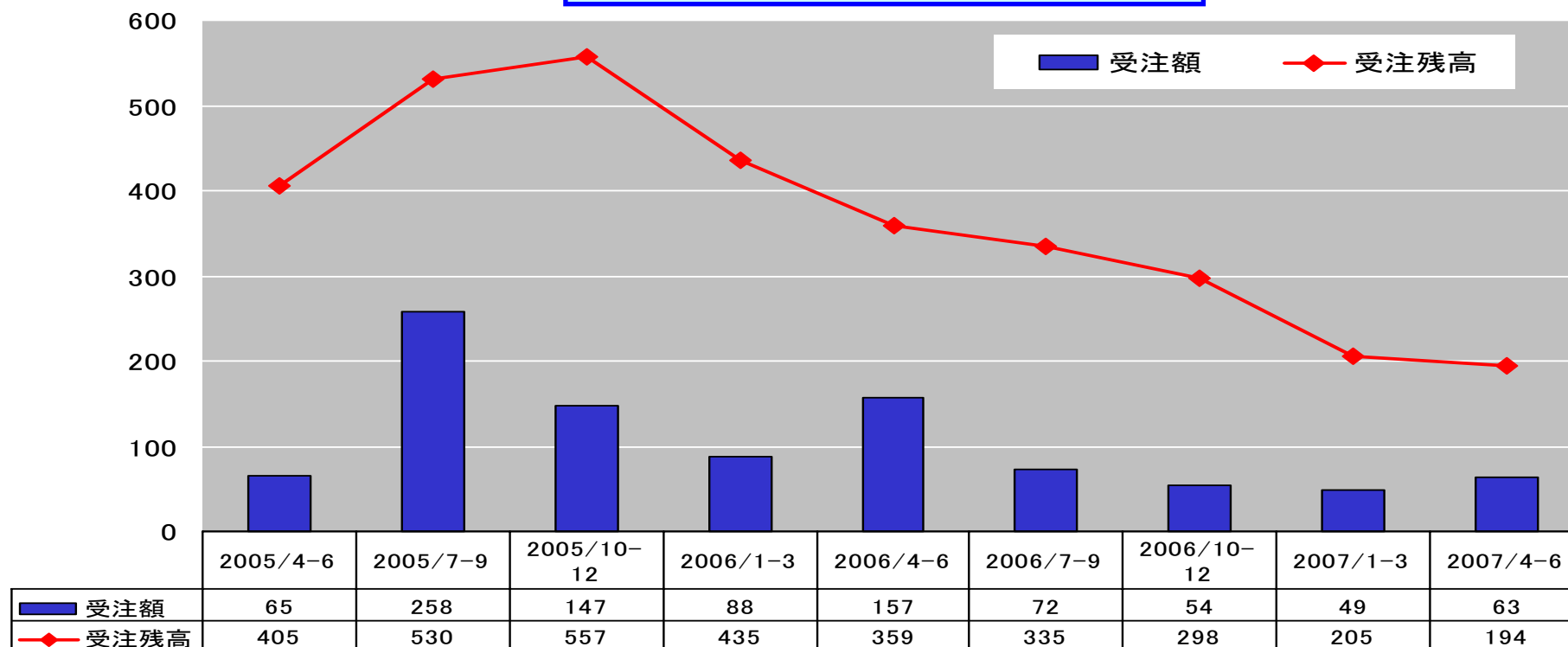
SU-3100 (ケミカルプロセッサ)	順調に納入実績残す
SS-3100 (ブラシスクラバー)	下期より売上に寄与
RF ^{3S} (コータ・デベロッパ)	複数の顧客に出荷実績

FPD製造装置事業

- 1Q受注は63億円、若干の改善傾向
- 2Q受注はさらに上積みを予想（100億円～150億円）
- しかし、一部メーカーへの納入時期が来期にずれ、今期の売上計画は期初計画比40億円の下方修正

(単位：億円)

四半期受注高・受注残高推移



1. 地域別投資予想

国内	シャープG10投資正式決定
韓国	LPLのG8投資具体化へ
台湾	G7のライン拡張に積極的
中国	個々に動きあるも多くの未確定要素あり

2. 新規事業の状況

- CF直描装置 : 順調に評価進み、今期受注期待
- 有機EL製造装置 : 材料メーカーとの共同評価加速

1. 固定費削減による営業利益の確保

前年同期比 売上は微減（▲6億円） 営業利益は増加（5億円）
←他部門への人員シフトの具体的効果

2. CTPの対象市場を拡大（地域・アプリケーション）

- 新製品『PlateRite Niagara』市場投入⇒BRICsなどの新興市場へ
- 新聞業界、パッケージ業界など、新CTPアプリケーション市場へ

3. インクジェット機を中心とするデジタル印刷機の拡販

- 有版デジタル印刷機 『 Truepress344』の拡販
- バリアブル印刷機 『 Truepress Jet520』の拡販
- 新製品の市場投入
『 Truepress Jet650UV 』 『 Truepress Jet2500UV 』

IGAS展（9月21日～27日東京ビックサイト）に出展

当社が初めてFESPA展（6月5日～9日ドイツ）に インクジェット機を出展

- Truepress Jet2500UV
ミッドレンジクラスに業界初めて高品質（フォト品質）・高生産性をコンセプトにしたUV機を紹介
- Truepress Jet650UV
自動車インパネ、カードのサンプル展示
2400dpi の高品質が注目された

Jet650UV のサンプルコーナー



展示会3日目のFESPAニュースに「CTPスペシャリストのDSが自社のインクジェット機をFESPA展に出展したことに人々は驚いている」との記事

今期業績予想

- 全体数字については期初計画より変更なし
- 事業別売上高については若干の変更あり
- 営業利益については変更なし

<変更点>	売上	期初		修正
	半導体製造装置	1,770億円	⇒	1,800億円
	FPD製造装置	390億円	⇒	350億円
	画像情報処理装置	600億円	⇒	610億円

新規事業・新製品

- 各事業領域にて、新製品が今期から来期に売上寄与
- 特にインクジェット関連機器に期待

SCREEN